

# **日野町くらし安心ひとづくり総合戦略 施策検証結果報告書（平成29年度）**



**平成30年9月**

**日野町総合計画懇話会**

# 目 次

---

1. はじめに.....	1
2. 検証方法.....	2
3. 基本目標別検証結果.....	6
4. 施策検証結果一覧.....	16
基本目標（1）まちのたからで雇用を創る.....	17
基本目標（2）出会いと発見で人の流れを作る.....	19
基本目標（3）結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる.....	21
基本目標（4）くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる... <td>24</td>	24
5. 施策別検証内容（施策検証シート） .....	27
基本目標（1）まちのたからで雇用を創る.....	28
基本目標（2）出会いと発見で人の流れを作る.....	38
基本目標（3）結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる.....	49
基本目標（4）くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる... <td>64</td>	64
6. 地方創生交付金事業の検証.....	78
7. 検証のまとめ.....	80
1) 量的(KP1)検証のまとめ.....	81
2) 質的(取組内容)検証のまとめ.....	81
3) 基本目標別のまとめ.....	82
4) まとめ.....	86
8. 資料編.....	90
1) 用語解説 .....	91
2) 総合計画懇話会の開催.....	93
3) 総合計画懇話会委員名簿.....	93

## 1. はじめに

### 1) 総合戦略の検証の実施について

まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）に規定される市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略として、平成27年10月に策定された「日野町くらし安心ひとつづくり総合戦略」（以下「総合戦略」）については、2060年に、日野町の人口が約15,900人に減少すると推計（国立社会保障・人口問題研究所推計）されているなか、「日野町人口ビジョン」で見通している将来展望人口、18,000人台の維持と人口構造の安定をめざすため、平成27年度からの5年間の基本的な方向と施策の取り組みを定めています。この総合戦略を進めることにより、安心して暮らせるまちをつくりそのまちの魅力で交流人口および定住者人口を増やし、持続的に発展する日野町をつくることを目指しています。

のことから毎年度の事業完了後に基本目標と施策についての取り組み状況を外部有識者等の参画のもとに効果検証することにより、その検証結果を踏まえた施策の見直しや総合戦略の改訂を行うPDCAサイクルを確立し、総合戦略を着実に推進するために実施するものです。

### 2) 検証にあたっての着目点など

総合戦略の検証を進めるにあたって、次の着目点により検証を実施しました。

- ①総合戦略に掲げる「めざす姿」の実現に向けて、4つの基本目標の総合的な自己点検が実施され、事業の見直しも含めた今後の取り組みについてビジョンが明示されているか。

#### （めざす姿）

人と人がつながり、顔の見える関係のもと、いきいきと輝きながら活発に、地域をよくするために自分たちで考え、自分たちで行動して安心して暮らせる地域をつくり、そのもとで地域のコミュニティや文化、産業をつくれるまちとなっている。また、地域内経済循環の活性化につながる、人を中心とした自然、歴史など地域の誇りと地域資源を活かすことにより、「ひと」・「まち」・「しごと」のつながりの好循環により持続発展可能なまちとなっている。

- ②施策の取り組みについて、基本目標および基本的方向性を踏まえた取り組み状況を自己点検し、今後の取り組みについてビジョンが明示されているか。
- ③施策の取り組みについて、施策の内容を十分に理解したうえで取り組み状況を自己点検し、今後の取り組みについてビジョンが明示されているか。
- ④施策の取り組みについて、重要業績評価指標（ＫＰＩ）の実績だけでは計れない、取り組み内容の質的な充実ができているか。

## 2. 検証方法

## 1) 施策の検証方法

施策の検証については、施策毎に取り組み状況等をまとめた「施策検証シート」を作成し、懇話会委員の合議性により検証を実施した。

「施策検証シート」の検証項目には、施策毎の目標値にあたる「重要業績評価指標（KPI）の達成度」だけでなく、施策の取り組み内容の質について検証を行うため、「施策の取り組み状況」、「施策の今後の取り組み」、「基本目標・基本的方向を踏まえた取り組み状況」、「基本目標・基本的方向を踏まえた今後の取り組み」を加えた5項目とした。

## 2) 施策の検証結果

検証結果については、30点満点とし、「施策の検証基準」に基づき、量的検証項目として重要業績評価指標（KPI）の達成度、質的検証項目として4項目の採点を行い、5項目の合計点数により5段階の検証結果とした。

### 【量的検証項目】・・・点数配分10点

量的な検証として、年度別的重要業績評価指標（KPI）の目標値に対する実績値の達成度を検証した。なお、重要業績評価指標（KPI）が複数設定されている施策については、平均点を点数とした。

検証による点数配分は、次のとおりである。

点数	10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点
KPIの達成度	100% 100%以上	100%未満～90%以上	90%未満～80%以上	80%未満～70%以上	70%未満～60%以上	60%未満～50%以上	50%未満～40%以上	40%未満～30%以上	30%未満～20%以上	20%未満～10%以上	10%未満～0%以上

年度別的重要業績評価指標（KPI）に関する検証結果を次のとおり5段階とした。

KPIの検証結果	重要業績評価指標（KPI）の達成度		重要業績評価指標（KPI）の検証点数
	100%～90%以上	90%未満～70%以上	
量S	100%～90%以上		10点～9点
量A		90%未満～70%以上	8点～7点
量B	70%未満～50%以上		6点～5点
量C	50%未満～30%以上		4点～3点
量D	30%未満～0%以上		2点～0点

【質的検証項目】・・・点数配分20点

「施策の取り組み状況」、「施策の今後の取り組み」、「基本目標・基本的方向を踏まえた取り組み状況」、「基本目標・基本的方向を踏まえた今後の取り組み」の4項目について検証を行った。

検証による点数配分は、次のとおりである。

検証項目	5点	4点	3点	2点	1点
【取り組み状況】 施策の内容を踏まえた取り組みと検証ができているか	施策の内容を十分に理解し、取り組みにより達成している	施策の内容を理解し、課題解決と達成に向け取り組みができる	施策の内容を理解し取り組みができる	概ね施策の内容を踏まえているが、取り組みが不十分	あまり施策の内容を踏まえて取り組めていない
【今後の取り組み】 今後の取り組みは、施策の内容を踏まえ、改善策等を明記しているか	施策の内容を十分に理解し、達成した取り組みを維持、または更に改善しようとしている	施策の内容を理解した取り組みを実施し、課題解決や達成に向けた取り組みが明示されている	施策の内容を理解し、課題解決や達成に向けた取り組みが明示されている	概ね施策の内容を踏まえているが、課題解決や達成に向けた取り組みが不十分	あまり施策の内容を踏まえず、課題解決や達成に向けた取り組みが示されていない
【取り組み状況】 基本目標と基本的方向を踏まえた取り組みと検証ができているか	基本目標と基本的方向を十分に理解し、取り組みにより達成している	基本目標と基本的方向を理解し、課題解決と達成に向け取り組みができる	基本目標と基本的方向を理解し取り組みができる	概ね基本目標と基本的方向を踏まえているが、取り組みが不十分	あまり基本目標と基本的方向を踏まえて取り組めていない
【今後の取り組み】 今後の取り組みは、基本目標と基本的方向性を踏まえ、改善策等を明記しているか	基本目標と基本的方向を十分に理解し、達成した取り組みを維持、または更に改善しようとしている	基本目標と基本的方向を理解した取り組みを実施し、課題解決や達成に向けた取り組みが明示されている	基本目標と基本的方向を理解し、課題解決や達成に向けた取り組みが明示されている	概ね基本目標と基本的方向を踏まえているが、課題解決や達成に向けた取り組みが不十分	あまり基本目標と基本的方向を踏まえず、課題解決や達成に向けた取り組みが示されていない

質的検証を行った4項目の合計点数により、質的な検証結果を次のとおり5段階とした。

質的検証結果	質的検証結果の内容	質的検証を行った4項目の合計点数
質S	内容を十分に理解し、取り組みにより達成している	20点～17点
質A	内容を理解した取り組みを実施し、課題解決や達成に向けた取り組みができる	16点～13点
質B	内容を理解し、取り組みができる	12点～9点
質C	概ね内容を踏まえているが、取り組みが不十分	8点～5点
質D	あまり内容を踏まえて取り組めていない	4点～1点

### 【検証結果】

量的検証項目（KPI）および質的検証項目（4項目）の検証点数の合計点数により次のとおり、施策の検証結果とすることとした。

検証結果		検証結果内容	5項目の合計点数
S		目標を達成している	30点～25点
A		優れている	24点～19点
B		実施できている	18点～13点
C		工夫が必要	12点～7点
D		改善が必要	6点～1点

### 【施行策の検証基準】

日野町くらし安心ひとづくり総合戦略																						
30点満点		達成		優		良		発展途上		改善が必要												
数量的検証	① KPIの達成度 ※KPIが複数の場合は、平均点	10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点										
		100%	100%未満～90%以上	90%未満～80%以上	80%未満～70%以上	70%未満～60%以上	60%未満～50%以上	50%未満～40%以上	40%未満～30%以上	30%未満～20%以上	20%未満～10%以上	10%未満～0%以上										
質的検証	検証観点	5点		4点		3点		2点		1点												
	【取り組み状況】 ② 施策の内容を踏まえた取り組みと検証ができるているか	施策の内容を十分に理解し、取り組みにより達成している		施策の内容を理解し、課題解決と達成に向け取り組みができる		施策の内容を理解し取り組みができる		概ね施策の内容を踏まえているが、取り組みが不十分		あまり施策の内容を踏まえて取り組めていない												
	【今後の取り組み】 ③ 今後の取り組みは、施策の内容を踏まえ、改善策等を明記しているか	施策の内容を十分に理解し、達成した取り組みを維持、または更に改善しようとしている		施策の内容を理解した取り組みを実施し、課題解決や達成に向けた取り組みが明示されている		施策の内容を理解し、課題解決や達成に向けた取り組みが明示されている		概ね施策の内容を踏まえているが、課題解決や達成に向けた取り組みが示されない		あまり施策の内容を踏まえず、課題解決や達成に向けた取り組みが示されていない												
	【取り組み状況】 ④ 基本目標と基本的方向を踏まえた取り組みと検証ができるているか	基本目標と基本的方向を十分に理解し、取り組みにより達成している		基本目標と基本的方向を理解し、課題解決と達成に向け取り組みができる		基本目標と基本的方向を理解し取り組みができる		概ね基本目標と基本的方向を踏まえているが、取り組みが不十分		あまり基本目標と基本的方向を踏まえて取り組めていない												
	【今後の取り組み】 ⑤ 今後の取り組みは、基本目標と基本的方向性を踏まえ、改善策等を明記しているか	基本目標と基本的方向を十分に理解し、達成した取り組みを維持、または更に改善しようとしている		基本目標と基本的方向を理解した取り組みを実施し、課題解決や達成に向けた取り組みが明示されている		基本目標と基本的方向を理解し、課題解決や達成に向けた取り組みが明示されている		概ね基本目標と基本的方向を踏まえているが、課題解決や達成に向けた取り組みが不十分		あまり基本目標と基本的方向を踏まえず、課題解決や達成に向けた取り組みが示されていない												
合計検証点数																						
		合計検証点数		30点～25点		24点～19点		18点～13点		12点～7点		6点～1点										
		⑥検証結果		S		A		B		C		D										
		目標を達成している		優れている		実施できている		工夫が必要		改善が必要												

### 3) 基本目標別の検証

基本目標の検証については、めざす姿の実現に向けて、基本目標別にまとめられた取り組み状況と今後の取り組み、基本目標を構成する施策の検証結果を踏まえ、総合的に基本目標を検証し、その検証内容をコメントとしてまとめた。

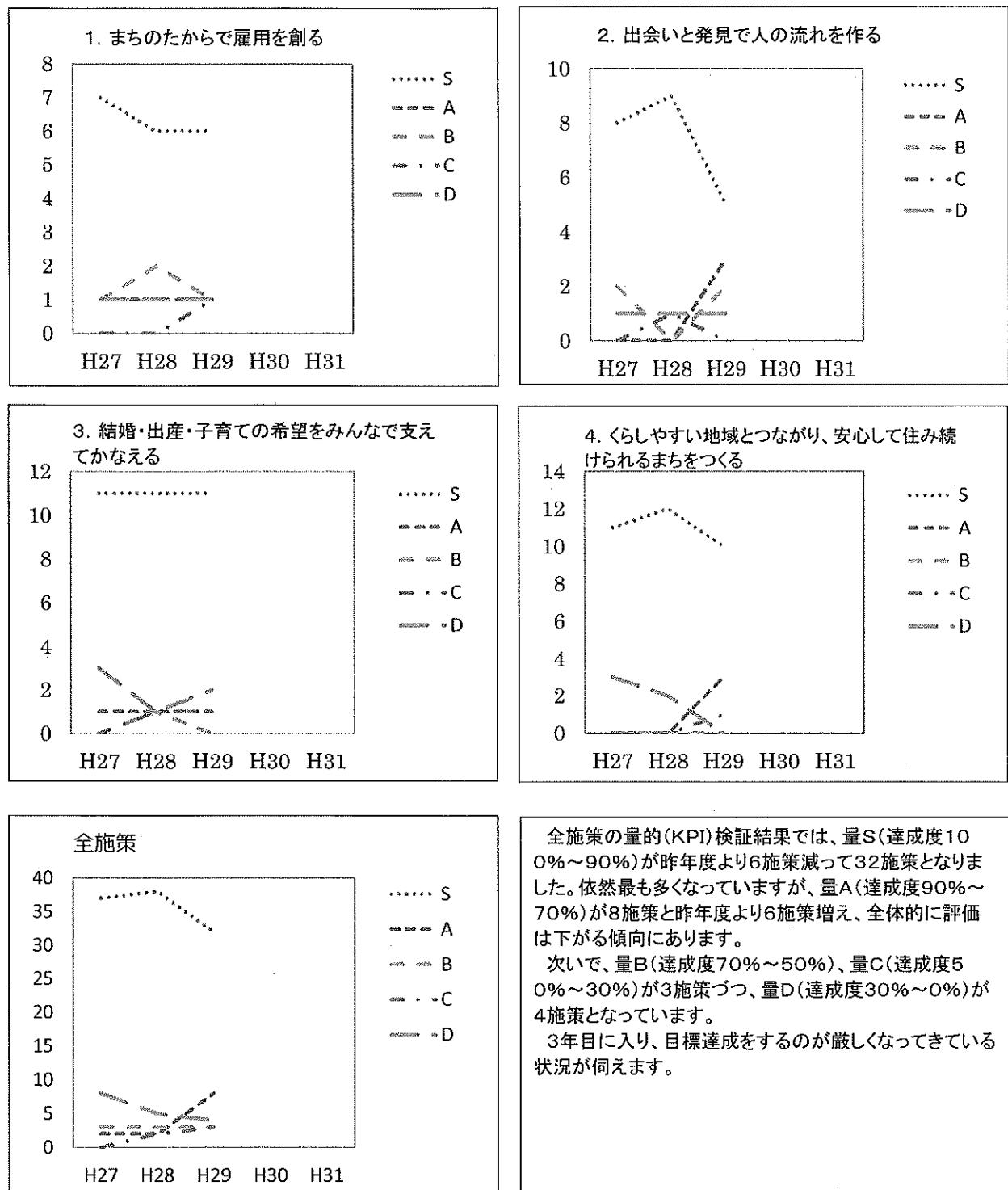
### 4) 地方創生交付金事業の検証

地方創生交付金事業の検証については、国から外部有識者による効果検証が求められていることから、総合計画懇話会で検証を行なうこととした。効果検証については、重要業績評価指標（KPI）の達成度に加え、関連する施策の検証結果を踏まえ、事業として有効であったかを検証することとした。

### 3. 基本目標別検証結果

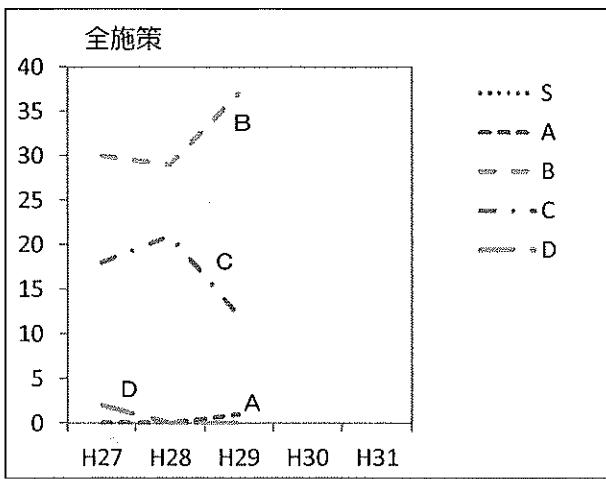
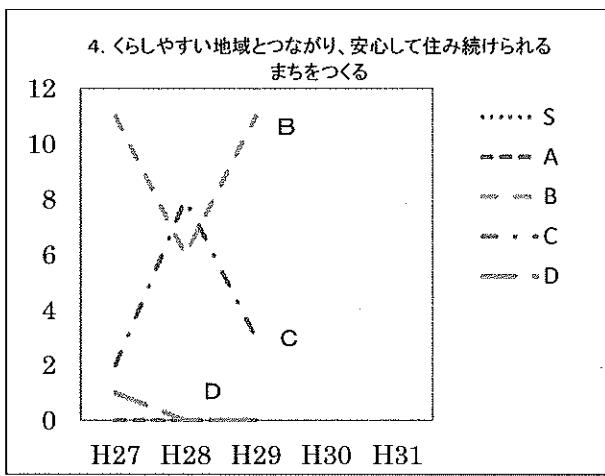
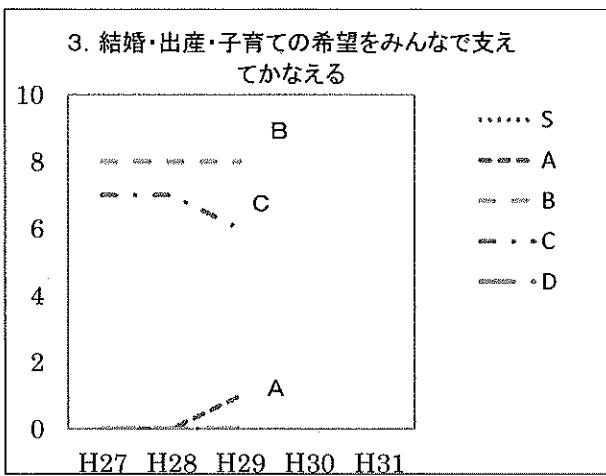
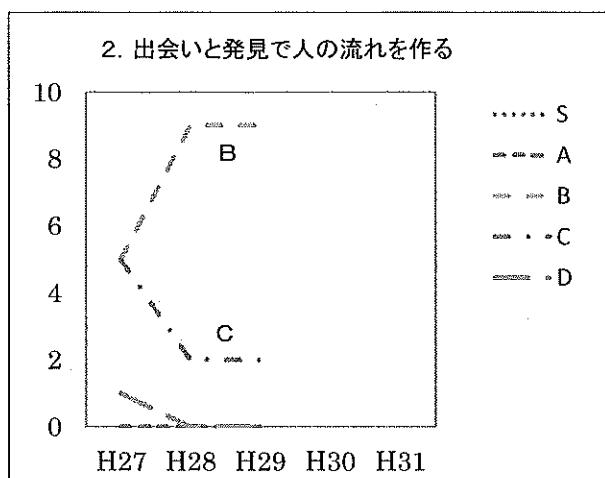
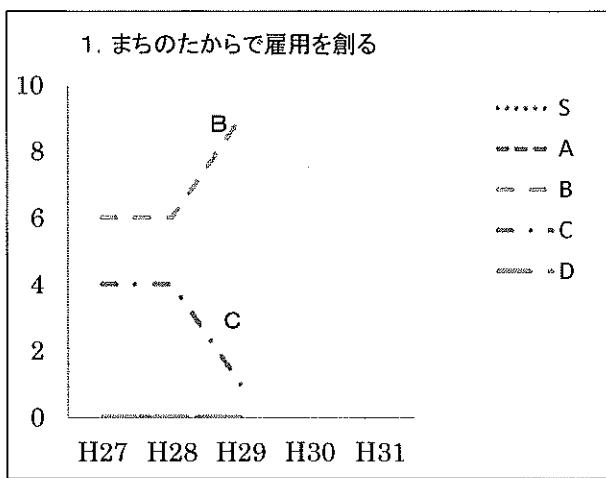
No.	基本目標	年度	検証結果						
			達成度 100%～90%以上	達成度 90%未満～70%以上	達成度 70%未満～50%以上	達成度 50%未満～30%以上	達成度 30%未満～0%以上	合計	
			量S	量A	量B	量C	量D		
1	まちのたからで雇用を創る	H27	7	1	1	0	1	10	
		H28	6	1	2	0	1	10	
		H29	6	1	1	1	1	10	
		H30							
		H31							
2	出会いと発見で人の流れを作る	H27	8	0	2	0	1	11	
		H28	9	0	0	1	1	11	
		H29	5	3	2	0	1	11	
		H30							
		H31							
3	結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる	H27	11	1	0	0	3	15	
		H28	11	1	1	1	1	15	
		H29	11	1	0	1	2	15	
		H30							
		H31							
4	くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	H27	11	0	0	0	3	14	
		H28	12	0	0	0	2	14	
		H29	10	3	0	1	0	14	
		H30							
		H31							
総合計		H27	37	2	3	0	8	50	
		H28	38	2	3	2	5	50	
		H29	32	8	3	3	4	50	
		H30							
		H31							

## 基本目標別量的（KPI）検証結果



No.	基本目標	年度	検証結果						
			内容を十分に理解し、取り組みにより達成している	内容を理解した取り組みを実施し、課題解決や達成に向けた取り組みができている	内容を理解し、取り組みができる	既往内容を踏まえているが、取り組みが不十分	あまり内容を踏まえて取り組めていない		
			質S	質A	質B	質C	質D	合計	
1	まちのたからで雇用を創る	H27	0	0	6	4	0	10	
		H28	0	0	6	4	0	10	
		H29	0	0	9	1	0	10	
		H30							
		H31							
2	出会いと発見で人の流れを作る	H27	0	0	5	5	1	11	
		H28	0	0	9	2	0	11	
		H29	0	0	9	2	0	11	
		H30							
		H31							
3	結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる	H27	0	0	8	7	0	15	
		H28	0	0	8	7	0	15	
		H29	0	1	8	6	0	15	
		H30							
		H31							
4	くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	H27	0	0	11	2	1	14	
		H28	0	0	6	8	0	14	
		H29	0	0	11	3	0	14	
		H30							
		H31							
総合計			0	0	30	18	2	50	
			0	0	29	21	0	50	
			0	1	37	12	0	50	

## 基本目標別質的（取組内容）検証結果



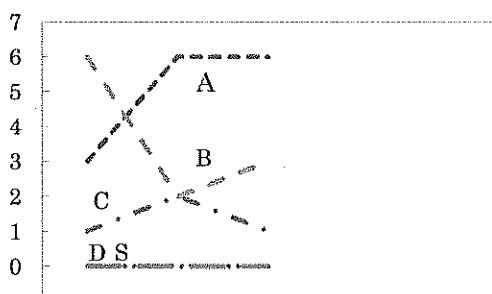
全施策の質的(取組内容)検証結果では、質B(内容を理解し、取り組みできている)が37施策と最も多く、次いで、質C(概ね内容を踏まえているが、取り組みが不十分)が12施策という結果になっています。また、今年度新たに1施策が質A(内容を理解した取り組みを実施し、課題解決や達成に向けた取り組みができている)になりました。

基本目標別の質的(取組内容)検証結果をみると、基本目標「まちのたからで雇用を創る」、「出会いと発見で人の流れを作る」、「結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる」で、昨年度に引き続き、質B(内容を理解し、取り組みできている)が最多くなっています。また、基本目標「くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる」では、質B(内容を理解し、取り組みできている)が、質C(概ね内容を踏まえているが、取り組みが不十分)を上回り、昨年と逆転する結果となりました。

基本目標（1）	まちのたからで雇用を創る
まちの「たから」である「地域資源」を活かし、住民が主体となって取り組む創業による地域内経済循環の活性化と、既存の取り組みの拡大も含めた雇用の創出をめざします。また、町内の企業の交流と連携を進め、更なる地域経済の活性化をめざします。	

重要業績評価指標（KPI）							
指標名	基準値（H26）	0 件	H27	H28	H29	H30	
			目標	3 件（累計）	6 件（累計）	9 件（累計）	
			実績	1 件（累計）	1 件（累計）	1 件（累計）	
1 創業件数			達成率	33.3%	16.7%	11.1%	
2 町内企業への新規学卒就職者の町内在住者比率		21.2 %	目標	21.2 %	23.0 %	26.0 %	
		実績	26.7 %	18.7 %	10.0 %	28.0 %	
		達成率	125.9%	81.3%	38.5%	30.0 %	
講すべき施策に関する基本的方向		○「地域資源」を活用し、豊富な経験、技術、知識を持った人がつながる機会をつくり、創業と雇用に結びつけます。 ○農業などを通じて「地域資源」を発見し、付加価値を生み出すことでブランド化、さらなる有効活用を生み出すことで雇用を創ります。 ○地元企業、商工会と連携を図り情報を発信することで、町内雇用の拡大を図ります。					
施策の検証結果状況	年度	目的を達成している S	優れている A	実施できている B	工夫が必要 C	改善が必要 D	合計
	H27	O	3	6	1	O	10
	H28	O	6	2	2	O	10
	H29	O	6	3	1	O	10
	H30						
	H31						

## 1. まちのたからで雇用を創る



H27 H28 H29 H30 H31

基本項目①「まちのたからで雇用を創る」を構成する施策の検証結果は、A（優れている）が6施策で昨年に引き続き、60.0%と最も多くなっています。

次に、B（実施できている）が3施策、30.0%、C（工夫が必要）が1施策、10.0%の順になっています。

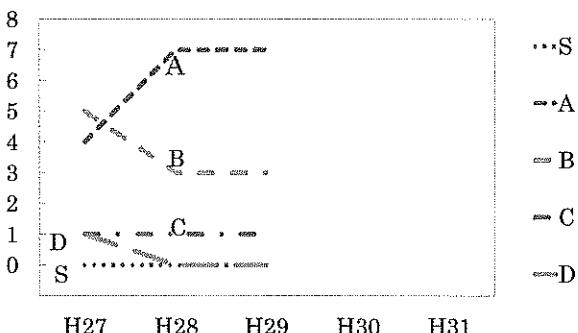
基本目標に対するコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活かした地域内経済循環に結びつけるために、住民主体となって創業に取組むことができるよう、どのような工夫ができるのか具体的な検討が必要です。</li> <li>・農業においては、農業経営体だけの育成にとどまらず、集落を存続させる運営についても意識し、日野菜等の特産品のブランド化も含め、まちに誇りを持ち、生きがいにつながるような活動になることが求められています。</li> <li>・異業種間交流の実質化に向けて取組みを進めてください。</li> </ul>
--------------	---

## 基本目標 (2) 出会いと発見で人の流れを作る

まちの「だから」を活かし、観光などで「人と人」の出会いの機会をつくり、日野の魅力を伝えることで交流から移住・定住に結び付く、魅力あるまちをめざします。

重要業績評価指標 (KPI)								
指標名		基準値 (H26)		H27	H28	H29	H30	H31
1 観光入込客数（年間）過去3年平均		625,667 人 (H24-H26)	目標	628,000 人 (H25-H27)	629,500 人 (H26-H28)	631,000 人 (H27-H29)	633,000 人 (H28-H30)	635,000 人 (H29-H31)
			実績	619,500 人 (H25-H27)	595,400 人 (H26-H28)	569,166 人 (H27-H29)		
			達成率	98.6%	94.6%	90.2%		
2 転入者数（住民基本台帳）過去3年平均		678 人 (H24-H26)	目標	680 人 (H25-H27)	690 人 (H26-H28)	700 人 (H27-H29)	715 人 (H28-H30)	730 人 (H29-H31)
			実績	717 人 (H25-H27)	713 人 (H26-H28)	715 人 (H27-H29)		
			達成率	105.4%	103.3%	102.1%		
3 転出者数（住民基本台帳）過去3年平均		806 人 (H24-H26)	目標	800 人 (H25-H27)	780 人 (H26-H28)	760 人 (H27-H29)	730 人 (H28-H30)	710 人 (H29-H31)
			実績	843 人 (H25-H27)	820 人 (H26-H28)	801 人 (H27-H29)		
			達成率	94.9%	95.1%	94.6%		
講すべき施策に関する基本的方向		<p>○まちの「だから」である観光資源・田舎体験等の多様な交流を通じ、まちの魅力と住民の誇りを醸成することで、観光客や町外の住人が日野町に関心を持ち、住民との交流によりさらに関心が深まり、将来の移住につながるような情報発信や事業の拡充を図ります。</p> <p>○住民に日野町の良さを伝えることで、日野町に生まれてよかった、住んで良かったと思える地域への愛着を芽生えさせ、育てていくことにより定住を促進します。</p> <p>○移住希望者の視点に立ち、日野町での暮らしがイメージでき、移住を後押しできるような情報発信と支援の充実を図ります。</p> <p>○遊休地や空き地等が、移住と定住につながるよう利活用と情報発信を図ります。</p>						
施策の検証結果状況		年度	目的を達成している S	優れている A	実施できている B	工夫が必要 C	改善が必要 D	合計
		H27	O	4	5	1	1	11
		H28	O	7	3	1	0	11
		H29	O	7	3	1	0	11
		H30						
		H31						

## 2. 出会いと発見で人の流れを作る



基本項目②「出会いと発見で人の流れを作る」を構成する施策の検証結果は、A（優れている）が7施策、63.6%と最も多くなっています。  
次に、B（実施できている）が3施策、27.3%、C（工夫が必要）が1施策、9.1%の順になっています。

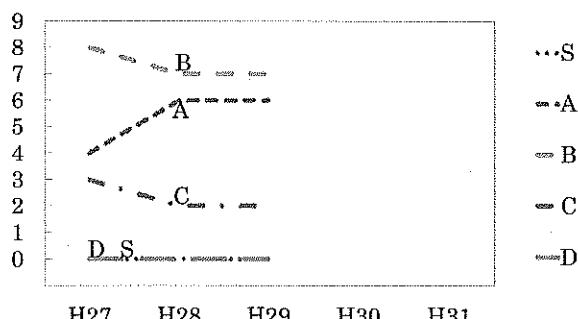
基本目標に対するコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民によるまちの魅力の再発見・再評価を行い、この町に住んでよかったという気運を高めるとともに、まちの魅力を住民主体で発信していくことで、町内外にこのまちへの関心を高め、交流から移住・定住に結び付く取組みにつなげてください。</li> <li>・実効性・即効性の高い、空き家・空き地活用について、まち全体の取り組みへとつなげていってください。</li> </ul>
--------------	---

## 基本目標別検証結果

基本目標 (3) 結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる	地域のつながりを深める中で、結婚から子育てまで、その時々のニーズにあった切れ目のない支援を行い、若い世代が出産や子育てに希望をもてるまちを目指します。
-----------------------------------	---

重要業績評価指標 (KPI)							
指標名	基準値 (H26)		H27	H28	H29	H30	H31
1 出生数（住民基本台帳）過去3年平均	180 人 (H24-H26)	目標	179 人 (H25-H27)	178 人 (H26-H28)	177 人 (H27-H29)	176 人 (H28-H30)	175 人 (H29-H31)
		実績	174 人 (H25-H27)	174 人 (H26-H28)	159 人 (H27-H29)		
		達成率	97.2%	97.8%	89.8%		
2 合計特殊出生率	1.59 (H26年自粛計)	目標	1.59	1.60	1.60	1.61	1.62
		実績	1.51	1.48			
		達成率	95.0%	92.5%			
講すべき施策に関する基本的方向	○結婚に向けた男女の出会いの場の創出を図ります。 ○出産に向けた負担の軽減により支援の充実を図ります。 ○子育てサポーター等、現状のサービスの充実や子育てに係る負担の軽減などを通じて、子ども・子育て支援の充実を図ります。 ○育児休業の取得促進や多様な働き方の普及などを通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現などを図ります。						
施策の検証結果状況	年度	目的を達成している	優れている	実施できている	工夫が必要	改善が必要	合計
	H27	O	4	8	3	0	15
	H28	O	6	7	2	0	15
	H29	O	6	7	2	0	15
	H30						
	H31						

## 3. 結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる



基本項目③「結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる」を構成する施策の検証結果は、B（実施できている）が7施策、46.7%と最も多くなっています。次に、A（優れている）が6施策、40.0%、C（工夫が必要）が2施策、13.3%の順になっています。

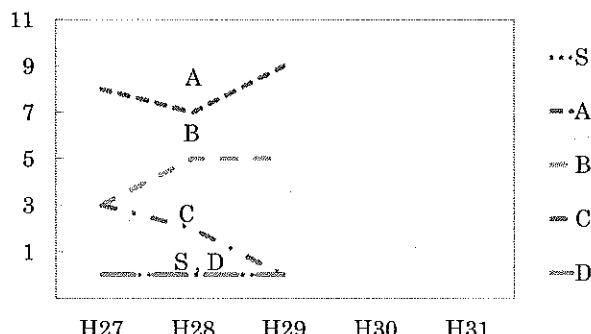
基本目標に対するコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>多世代が交流できる場を充実させ、人同士の繋がりの中で、切れ目のない支援ができるよう、保護者同志の繋がりを深められる取組みを進めてください。</li> <li>今の利用者が将来の支援者になる視点をもち、人材育成・人材確保を行い、世代間での支えあいの循環が図れる仕組みづくりに取組んでください。</li> <li>人同士のつながりから生まれる支え合いから、学童にかかる人材育成・人材確保に繋がる取組みとしてください。</li> </ul>
--------------	--

## 基本目標別検証結果

基本目標 (4)	くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる
	家庭でのきずなはもとより、地域の人とのつながり（きずな）を育み、顔の見える関係のもと、住民が自らくらしやすい地域をつくり、そのもとで安全で安心して住み続けられるまちをめざします。また、地域の力を活かした課題解決能力を高めることで、住民の活発な自治活動を持続発展させ、これまでの自治活動の見直しも含め、地域課題について、住民が自ら発見し、学び、取り組んでいくまちをめざします。

指標名	基準値 (H26)	重要業績評価指標 (KPI)						
		〇ヶ所	目標	H27	H28	H29	H30	
			実績	〇ヶ所	〇ヶ所	〇ヶ所	〇ヶ所	
人と人（複数の地域コミュニティ）をつなぐ場の創出			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
講すべき施策に関する基本的方向		○地域での人と人のつながり（きずな）を育むため、地域の多様なコミュニティが連携する住民主体の活動を支援します。 ○人と場所と機会をつなぐ、人材・資源を発掘します。 ○住民主体の出会いの場づくりにより、地域に暮らす人同士の「おたがいさま」の助け合い、自分の「自慢」を持ち寄り、生きがいを持てる仕組みをつくります。 ○顔の見えるつながりの中で、「困りごとを出し合い、支えあう」など、地域のコミュニティ活動を支援します。 ○自治活動を基盤に、地域福祉活動の推進、子育て・介護・防犯・防災などの取り組みにより、安心・安全なまちづくりを推進します。						
施策の検証結果状況	年度	目的を達成している S	優れている A	実施できている B	工夫が必要 C	改善が必要 D	合計	
	H27	〇	8	3	3	0	14	
	H28	〇	7	5	2	0	14	
	H29	〇	9	5	0	0	14	
	H30							
	H31							

## 4. くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる

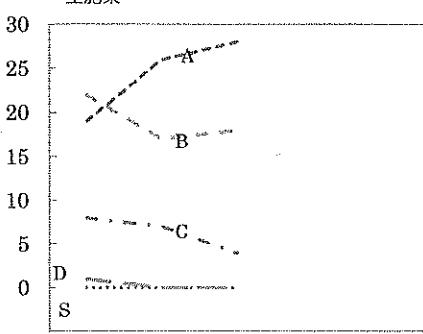


基本項目④「くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる」を構成する施策の検証結果は、A（優れている）が9施策、64.3%と最も多くなっています。  
次に、B（実施できている）が5施策、35.7%となっています。

基本目標に対するコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の得意をまちづくりに活かし、学びや生きがいの活動がまちを元気にするような取り組みを増やしてください。</li> <li>住民の中にある、力量を見出し、育てて、活かしていくのが公務員の仕事です。</li> <li>地域のサロン等の取り組みを高齢者だけの施策のとどめず、若い世代から子どもへ、住民自治につながる息の長い取り組みとなるよう働きかけをしてください。</li> <li>まちの安心をつくる取り組みから、地域の住民自治の活動を育て支える取り組みを意識してください。</li> </ul>
--------------	--

No.	基本目標	内容	検証結果						検証委員からのコメント			
			S	A	B	C	D	合計				
1	まちのだからで雇用を創る	まちの「だから」である「地域資源」を活かし、住民が主体となって取り組む創業による地域内経済循環の活性化と、既存の取り組みの拡大も含めた雇用の創出をめざします。また、町内の企業の交流と連携を進め、更なる地域経済の活性化をめざします。	H27	0	3	6	1	0	10	・地域資源を活かした地域内経済循環に結びつけるために、住民主体となって創業に取組むことができるよう、どのような工夫ができるのか具体的な検討が必要です。		
			H28	0	6	2	2	0	10	・農業においては、農業経営体だけの育成にとどまらず、集落を存続させる運営についても意識し、日野菜等の特産品のブランド化も含め、まちに誇りを持ち、生きがいにつながるような活動になることが求められています。		
			H29	0	6	3	1	0	10	・異業種間交流の実質化に向けて取組みを進めてください。		
			H30									
			H31									
2	出会いと発見で人の流れを作る	まちの「だから」を活かし、観光などで「人と人」の出会いの機会をつくり、日野の魅力を伝えることで交流から移住・定住に結び付く、魅力あるまちをめざします。	H27	0	4	5	1	1	11	・住民によるまちの魅力の再発見・再評価を行い、この町に住んでよかったという気運を高めるとともに、まちの魅力を住民主体で発信していくことで、町内外にこのまちへの関心を高め、交流から移住・定住に結び付く取組みにつなげてください。		
			H28	0	7	3	1	0	11	・実効性・即効性の高い、空き家・空き地活用について、まち全体の取組みとつなげていってください。		
			H29	0	7	3	1	0	11			
			H30									
			H31									
3	結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる	地域のつながりを深める中で、結婚から子育てまで、その時々のニーズにあつた切れ目のない支援を行い、若い世代が出産や子育てに希望をもてるまちをめざします。	H27	0	4	8	3	0	15	・多世代が交流できる場を充実させ、人同士の繋がりの中で、切れ目のない支援ができるよう、保護者同志の繋がりを深められる取組みを進めてください。		
			H28	0	6	7	2	0	15	・今の利用者が将来の支援者になる視点をもち、人材育成・人材確保を行い、世代間でのえらいの循環が図れる仕組みづくりに取組んでください。		
			H29	0	6	7	2	0	15	・人同士のつながりから生まれる支え合いから、学童にかかる人材育成・人材確保に繋がる取組みとしてください。		
			H30									
			H31									
4	くらしやすい地域となり、安心して住み続けられるまちをつくる	家庭でのきずなはもとより、地域での人と人のつながり（きずな）を育み、顔の見える関係のもと、住民が自らくらしやすい地域をつくり、そのもとで安全で安心して住み続けられるまちをめざします。また、地域の力を活かした課題解決能力を高めることで、住民の活発な自治活動を持続発展させ、これまでの自治活動の見直しも含め、地域課題について、住民が自ら発見し、学び、取り組んでいくまちをめざします。	H27	0	8	3	3	0	14	・住民の得意をまちづくりに活かし、学びや生きがいの活動がまちを元気にするような取組みを増やしてください。		
			H28	0	7	5	2	0	14	・住民の中にある、力量を発見し、育てて、活かしていくのが公務員の仕事です。		
			H29	0	9	5	0	0	14	・地域のサロン等の取り組みを高齢者だけの施策のとどめず、若い世代から子どもへ、住民自治につながる息の長い取組みとなるよう働きかけをしてください。		
			H30							・公共政策が地域の自治会の活動にまで踏み込まないようにすることを意識し、まちの安心をつくる取組みとしてください。		
			H31									
総 合 計			H27	0	19	22	8	1	50			
			H28	0	26	17	7	0	50			
			H29	0	28	18	4	0	50			
			H30									
			H31									

全施策



..... S  
 ---- A  
 - - - B  
 - · - C  
 - D

総合戦略の全施策の検証結果では、A（優れている）が、H28年度実績では26施策であったのに対し、H29年度実績では28施策になり、年々増加しています。

次に、B（実施できている）が18施策、C（工夫が必要）が4施策の順になっています。

#### 4. 施策検証結果一覧

## 日野町くらし安心ひとづくり総合戦略

## 施 策 検 証 結 果 一 覧 表

平成29年度

基本目標	施策No	施策	検証委員からのコメント	検証項目					合計 検証点数	
				年度	①KPI		②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	
					量的検証	質的検証	質的検証			
まちのだからで雇用を創る	1 創業・第2創業の促進		<ul style="list-style-type: none"> <li>創業するにあたり、地域資源を活かした地域内経済循環に結びつけるために、どのような工夫が必要なのかを示してください。</li> <li>地元の金融機関の経営指導との連携を強めていくと共に、商工会と連携を取っていってください。</li> <li>「創業塾受講者OBの集い」をして関心のある人のネットワークを作るような仕組みづくりを行い「ビジネスプランコンテスト」の開催等、新規創業の気運を高めていってください。</li> </ul>	H27	10	2	2	1	1	16
				量S	質C					B
				H28	6	2	2	2	2	14
				量B	質C					B
	2 地域内経済循環の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>施策の取り組み状況に地域内経済循環について言及がありません。農村生活体験等の体験型観光からどう地域内経済循環に結び付く取り組みにしていくのか示してください。</li> <li>実績としてあるのが田舎体験と住宅リフォームなので、他にも地域内に結びつけることが可能な事業を探ることを視野に入れてください。</li> </ul>	H27	4	3	2	2	2	13
				量C	質B					B
				H28	8.5	2	1	1	1	13.5
				量A	質C					B
	3 企業誘致と企業・異業種間の交流促進		<ul style="list-style-type: none"> <li>町長との行政懇談会も含め、事業効果を高めるための工夫を一つ一つ積み上げていってください。</li> <li>今までやっている事業（企業懇談会や氏郷まつり）を活かし、それぞれの事業を横につなげながら実施する意識が必要です。</li> <li>戦略性をもって、具体的な取組みをしていくことが必要です。そのことが、企業誘致につながっていくと思います。</li> <li>「住民が主体となって取組む創業による地域内経済循環の活性化」を計れる実質的な異業種間交流の取組みを工夫してください。</li> </ul>	H27	10	3	4	2	2	21
				量S	質B					A
				H28	9	4	3	2	2	20
				量S	質B					A
	4 魅力ある商店づくりの促進		<ul style="list-style-type: none"> <li>農家民泊を政策的にとらえ、「地元商店街での購買促進」等町の活性化につながる取組みをすることが求められています。</li> <li>夏祭りや秋祭りをいれて、月1回のマルシェを継続して行うなど、マルシェから新たな事業者を生むことも検討してみてください。</li> <li>もうひとつがんばりして魅力あるまちにしていく意識をもってもらつためには、個店に再来を考えてもらうことと同時に町の再来も一緒に考えてもらうため、きっかけが必要です。</li> <li>負のスパイラルをプラスに変えていく（個店の努力、意識改革、空間の改善、新しい事業者を生むなど）ことが必要です。</li> </ul>	H27	5	2	3	2	2	14
				量B	質B					B
				H28	5	2	2	2	1	12
				量B	質C					C
	5 農業経営体の育成		<ul style="list-style-type: none"> <li>人・農地プランに特化するのではなく、広い見地から新規就農者への働きかけを行うよう努めてください。</li> <li>新たな担い手の参入によって、住民自身の参画が減少傾向にあります。双方の協働と集落内での協議で取組みを進めてください。</li> <li>経営体の育成だけでなく、営農を守り、集落を守るということを心がけてください。</li> </ul>	H27	6	2	2	1	2	13
				量B	質C					B
				H28	9	3	3	2	2	19
				量S	質B					A
	6 地元野菜生産者の担い手育成		<ul style="list-style-type: none"> <li>農業にチャレンジしてみようという人を支えられるよう、農薬の規制や栽培・表示等の研修を開催し、新規就農者の育成に取組んでください。</li> <li>オール日野町での取組となるよう、JAとの連携をすすめ、生業につながる仕掛けを考えてください。</li> <li>新たな地元野菜生産者の育成にも努めてください。</li> </ul>	H27	10	3	3	3	3	22
				量S	質B					A
				H28	10	3	3	2	2	20
				量S	質B					A
			<ul style="list-style-type: none"> <li>農業にチャレンジしてみようという人を支えられるよう、農薬の規制や栽培・表示等の研修を開催し、新規就農者の育成に取組んでください。</li> <li>オール日野町での取組となるよう、JAとの連携をすすめ、生業につながる仕掛けを考えてください。</li> <li>新たな地元野菜生産者の育成にも努めてください。</li> </ul>	H27	10	2	2	3	3	20
				量S	質B					A
				H28	9	4	3	2	2	20
				量S	質B					A
				H29	10	3	3	3	2	21
				量S	質B					A

基本目標施策No	施策	検証委員からのコメント	年度	検証項目					合計 検証点数
				①KPI	②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み	
				量的検証	質的検証				
7	日野菜のブランド化の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織の中でインセンティブに限界がきているのではないか?ここをどう切り開くかという視点を持ってください。(インセンティブニ意欲向上や目標達成のための刺激策)</li> <li>まずは日野菜生産者のすそ野を増やすことに注力してください。出荷者になってもらわなくてもいいですが、うまくいいたら新規生産者の拡大につながればよいくらいの思いで検討してください。</li> <li>日野菜をブランド化するなど、日野菜の生産に誇りを持ち、生きがいにつながるような取組みを検討してください。</li> </ul>	H27	9.5	2	2	2	2	17.5
			量S	質C					B
			H28	8	3	3	3	3	20
			量A	質B					A
8	畜肉の利活用を促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジビエ堂の活動がしっかりと経営できるよう、地元企業、商工会との連携を図り、需要の掘り起しがいや販路の拡大等の支援に力を入れてください。</li> </ul>	H27	10	2	2	2	3	19
			量S	質B					A
			H28	10	3	3	3	2	21
			量S	質B					A
9	若者等の就職相談窓口の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元高校に対する町独自のキャリア教育の取組みには可能性があります。地元出身の若者に対するキャリア教育を進めてください。</li> <li>町への愛着をもってもらう教育と共に、高校卒業数年後に地域の課題解決ができる力を持ち合わせて、帰ってくる若者を育てるに意識があります。取り組みを検討してください。</li> </ul>	H27	0	3	2	2	2	9
			量D	質B					C
			H28	0	2	2	2	2	8
			量D	質C					C
10	高齢者の生きがい創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>生きがいから予防介護につながるという視点をもつておくことが大切です。</li> <li>高齢者に対する各種の取組を再評価して、高齢者をとりまく関係課と連携をすすめ高齢施策を組み直すことを検討してください。</li> <li>60歳を超えてから住民意識の醸成を行おうとすると限界があります。住民のライフサイクルを踏まえ、その前の段階からまちづくりに係るうとする意識の醸成を行うことが求められています。</li> </ul>	H27	10	2	2	2	2	18
			量S	質C					B
			H28	10	2	2	2	2	18
			量S	質C					B
まちのたから で雇用を創る			H29	9	3	3	3	3	21
			量S	質B					A

基本目標施策No	施策	検証委員からのコメント	年度	検証項目					合計 検証点数	
				①KPI	②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み		
				量的検証	質的検証					
1 体験型観光の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日野の魅力を伝え交流から将来の移住・定住に結びつくような体験ができる取り組みとしてください。</li> <li>・「主体的・対話的で深い学び」等アクティブラーニングに積極的に対応してください。</li> <li>・日野の暮らしをイメージできるような、情報発信と交流を行い、将来の移住・定住につながる取り組みを関係機関と連携して行って下さい。</li> </ul>	H27	5.3	2	1	1	1	10.3	
			量B	質C				C		
			H28	10	4	3	2	2	21	
			量S	質B				A		
2 観光受入体制の整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>・農泊など活発な取組がありますが、その目的の行く先には、町への愛着から定住につながるという視点が今後の取り組みにしてほしいです。</li> </ul>	H27	8	3	3	3	3	20	
			量A	質B				A		
			H28	10	3	3	3	3	22	
			量S	質B				A		
3 日野の「たから」情報発信の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外からの移住者のセンスを取り入れるなどの視点が必要です。</li> <li>・まちの良さを自分たちで発見できたり、評価できたりする視点を持ってください。</li> <li>・SNSの発信は若い人に向け。生涯学習と連携し、移住なのか観光なのか、何かテーマや戦略性をもった発信にしていってください。</li> <li>・SNSの発信の仕方だけではあると偏るの、そこから町のことを考える取組につながる仕組みを作った上で行って下さい。</li> </ul>	H27	9	2	3	1	2	17	
			量S	質C				B		
			H28	8	3	3	3	3	20	
			量A	質B				A		
4 日野の「たから」の伝承促進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・三館連携の取組について、どの年齢層も満足させるような策を考えてください。</li> <li>・日野の文化水準の高さを示しているものでもあります。日野の「たから」の魅力を最大限伝える施策を推進してください。</li> </ul>	H27	5	3	3	2	2	15	
			量B	質B				B		
			H28	4	2	3	2	2	13	
			量C	質B				B		
5 伝統文化等後継者育成の促進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育での学びにとどまっているので、後継者育成に踏み込めていません。自分の町がいい町などと学びと成長の中で感じる住民を育てることが必要です。</li> <li>・教わった側から、教える方になるサイクルを作っていてください。</li> <li>・本物を見せるには、年齢が低いほど感じやすく高い効果が期待できます。子どものころにあらゆる取り組みをすることは有効と考えます。</li> </ul>	H27	5	2	2	2	2	13	
			量B	質C				B		
			H28	10	3	3	2	2	20	
			量S	質B				A		
6 生涯学習の機会の充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生きがいとなっているサークル活動が他者とのつながりを持ちつつ、自分たちの持つ技術や経験を、まわりに普及させることが必要です。その仕掛けを作るのは、公民館の仕事です。</li> <li>・「SNSなど若い世代がよく利用する情報伝達方法についての学び」と「高齢者の技術・知識を直接次世代に伝えるような取組の学校での展開」について記載してください。</li> </ul>	H27	10	3	3	3	3	22	
			量S	質B				A		
			H28	10	2	2	2	1	17	
			量S	質C				B		
			H29	10	3	3	3	3	22	
			量S	質B				A		
			H27	10	2	1	2	1	16	
			量S	質C				B		
			H28	10	2	2	2	1	17	
			量S	質C				B		
			H29	10	3	3	3	2	21	
			量S	質B				A		
			H27	10	1	2	1	2	16	
			量S	質C				B		
			H28	10	3	3	2	1	19	
			量S	質B				A		
			H29	10	3	2	2	2	19	
			量S	質B				A		

出会いと発見で人の流れを作る

基本目標	施策No	施策	検証委員からのコメント	年度	検証項目					合計 検証点数
					①KPI	②指標 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み	
					量的検証	質的検証				
出会いと発見で人の流れを作る	7	定住支援相談窓口の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な窓口の活動実態が明らかになるように、現在のKPIに加えて、まちの魅力を発信した結果としての電話等による問い合わせの増減がわかるKPIの設定をしてください。</li> </ul>	H27	10	3	3	3	2	21
				量S	質B				A	
				H28	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A	
				H29	5	3	2	3	3	16
	8	空き家を活用した定住促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>景観保全につながったり、住民の定住促進につながる空き家対策の取り組みを行って下さい。日野町の魅力を町外の人に伝えるだけでなく、住民にもまちの良さを伝えることで、「ここに住んでよかった」という気運を育てる取り組みを住民との協働で進めてください。</li> <li>・移住者、受け入れ地域の双方の相互理解の元に、居心地のよいコミュニティづくりに努めてください。</li> </ul>	H27	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A	
				H28	10	3	3	3	3	22
				量S	質B				A	
				H29	10	3	3	3	3	22
	9	空き地等を活用した定住促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、観光等の交流人口が移住につながるよう、具体的なビジョンを持ってください。</li> <li>・地域に愛着を持つ住民の定住に結び付くような制度構築に努めてください。</li> <li>・空き地情報登録制度を活用した移住・定住は、ハードルが高いと思われます。制度の運用の基礎である登録空き地数を把握するためにも、KPIを見直し、あらたに登録空き地数をKPIに追加してください。</li> <li>・空き地情報登録制度を活用した移住・定住の困難さを克服し、実行ある制度となるように、戦略的な政策を考えてください。</li> </ul>	H27	0	2	2	1	1	6
				量D	質C				D	
				H28	0	2	2	3	3	10
				量D	質B				C	
				H29	0	3	3	3	3	12
	10	多文化共生の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生が進んだ町は、日本人にも住みやすい町になるといえます。移住定住に結び付く取組みとなるよう進めてください。</li> <li>・外国人の生活のやりづらさを心遣いすることが求められています。お互い話することで、地域の中でできていないことを分かり合えるようにすることが必要です。</li> </ul>	H27	9	3	3	2	2	19
				量S	質B				A	
				H28	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A	
				H29	10	3	3	3	3	22
	11	スポーツによる交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなのスポーツ広場」の最終目標を明確にし、取組をすすめてください。</li> <li>・子どもの伸び盛りの時期を逃がさずこの取組につなげ、交流を深めつつ、子どもの体力や町民の体力をどう増進するのかを考えることが必要です。</li> </ul>	H27	9	1	1	1	1	13
				量S	質D				B	
				H28	10	3	2	2	2	19
				量S	質B				A	
				H29	8	2	2	2	2	16
				量A	質C				B	

基本目標施策No	施策	検証委員からのコメント	年度	検証項目					合計 検証点数
				①KPI	②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み	
				量的検証	質的検証				
結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる	1 出会いの場の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>出会いの場の創出にとどまらず、独身男女が希望を持って自分を磨くことができる学びの場を作ってください。</li> <li>住民の多様ニーズに即した婚活事業を創出してください。</li> <li>地域住民主導の出会いの場づくりを支援して、地域における結婚への気運を高めてください。</li> </ul>	H27	9	2	2	1	3	17
			量S	質C				B	
			H28	10	2	2	2	2	18
			量S	質C				B	
2 産み育てやすい環境の充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>「結婚から子育てまでの、その時々のニーズにあった切れ目のない支援を行い、若い世代が出産や子育てに希望をもてるまち」をどう目指すのかの視点を持ち、どのような人にどう対応するのかを考え、その上で妊婦の健康の充実の図る取り組みにつなげてください。</li> <li>若い人がすこやかに生き抜くのをどう地域の力と共にやっていくのかについて、他部局との連携の中で計画性をもって取り組みを進めてください。</li> </ul>	H27	10	3	2	2	1	18
			量S	質C				B	
			H28	10	3	3	2	2	20
			量S	質B				A	
3 乳幼児健診における保健指導の充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>「親への切れ目のない支援を」とは、どのようなものか関連部局と連携をはかりながら、一度考えて下さい。</li> <li>親の子育てに関する知識不足への対応や、複雑化・高度化する親からの相談内容への対応を進めるため、保健師の力量を高めつつ、健診時のサポート体制を強化するなど、さらに工夫してください。</li> <li>虐待予防は、日常の関わりの中からもできることだと思います。日常の関わりの中で、親と子の時々のニーズを的確にとらえて、適切な対応をお願いします。</li> </ul>	H27	9	2	2	2	1	16
			量S	質C				B	
			H28	9	2	2	2	2	17
			量S	質C				B	
4 保育所の整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民を巻き込んで保育所運営をしていることはたいへん評価できるので、そのことを基本目標、基本的方向を踏まえての取り組みにつなげていってください。</li> <li>子どもを地域の宝として、地域の支え合いの仕組み作りにつながる取組みをしていってください。</li> </ul>	H27	8	3	3	2	2	18
			量A	質B				B	
			H28	10	3	3	3	3	22
			量S	質B				A	
5 子育て期間中の保護者の交流促進		<ul style="list-style-type: none"> <li>今の利用者が将来の支援者になるという視点をもちあわせ、支援者育成に努めてください。</li> <li>若い世代からライフサイクルとして集う場に出向くということが習慣となるよう意識してください。</li> <li>一人で子育てをしている人を支援する視点に立ち、公な場でできる支援だけでなく、公の場にかくれているところにも支援していく姿勢をもってください。</li> </ul>	H27	10	2	1	2	2	17
			量S	質C				B	
			H28	10	2	2	2	2	18
			量S	質C				B	
6 子育て支援員の確保		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域とのつながりを深める中で、切れ目のない支援を行いういう目標を再認識し、地感ぐるみの関わりの中で支援員になってもらえる人を発掘しようという発想をもち、あらゆる工夫をこらして、支援員の確保を行ってください。</li> <li>日野町の子育て支援員の人材としては、若い人だけでなくシルバー世代までをターゲットにし、遊ぶ力はおじいちゃんおばあちゃんを含め、70代を自安に、元気な高齢者が活躍できるようにしていってください。</li> </ul>	H27	10	1	3	1	2	17
			量S	質C				B	
			H28	7	2	2	2	2	15
			量A	質C				B	
			H29	9	2	2	2	2	17
			量S	質C				B	

基本目標	施策No	施策	検証委員からのコメント	年度	検証項目					合計 検証点数
					①KPI	②施策取り組み状況	③施策今後の取り組み	④基本目標等取り組み状況	⑤基本目標等今後の取り組み	
					量的検証	質的検証				
結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかねる	7	ファミリーサポートセンターの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>依頼会員から登録会員になるサイクルを作ることが必要です。サービスを使った人がサービスの提供者になっていくという循環がカギとなります。</li> <li>人の役に立っているという実感が、主体的に町の課題に関わっていく市民を育てるということに繋がります。</li> </ul>	H27	0	3	3	2	2	10
				量D	質B				C	
				H28	10	2	2	2	2	18
				量S	質C				B	
				H29	10	2	2	2	2	18
	8	交流できる場の充実		量S	質C				B	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>まずは箱の確保ができたが、今後、団体育成・人材育成することに意識を置いてください。多世代が交流できる場を作ることが、子育てを支援していく基盤になることが求められています。</li> </ul>	H27	0	1	2	2	3	8	
			量D	質C				C		
			H28	0	2	2	2	2	8	
			量D	質C				C		
			H29	0	3	3	3	3	12	
	9		福祉医療制度の実施		量D	質B				C
		<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の子育て支援サービスの中で、この医療費のサービスがどのような位置をしめ、財政との兼ね合いや近隣市町とのバランス等を考えた上で、対象年齢の課題と無料化について、より良い取り組みとなるよう検討を進めてください。</li> <li>また、制度の調査・研究・実施においては、この制度だけに留まることなく、町全体の子育て支援の中でのこの制度が得策となるように図る視点が必要です。</li> </ul>	H27	10	3	3	2	2	20	
			量S	質B				B		
			H28	10	3	3	2	2	20	
			量S	質B				A		
			H29	10	4	4	2	2	22	
	10		障がい児の支援の充実		量S	質B				A
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「切れ目のない支援」は年齢だけでなく、障がいの程度についても、切れ目なく支援していくことが必要です。</li> <li>KPIについては、設定時の基本的な考え方を確認した上で、切れ目のない支援を実現するための取組みを強め、それを適切に評価するなどKPI設定を改善してください。</li> <li>就学前から小学校にしつかりと支援をつけなければいけよう、親への関わりも含めて、関係機関の連携を密に取組んでください。</li> </ul>	H27	0	2	3	3	3	11	
			量D	質B				C		
			H28	10	3	3	2	2	20	
			量S	質B				A		
			H29	1	2	2	2	2	9	
	11		子どもの読書活動推進		量D	質C				C
		<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者を将来、ボランティアや他の活動につなげられるよう、仕組みづくりを検討してください。</li> <li>住民自身が居場所を見つけ、他者とつながり、将来のまづなにしていくことが大切です。地域全体で読書に親しみ環境をつくる施策の中で、住民の活動と共に推進をしてください。</li> </ul>	H27	10	2	3	2	2	19	
			量S	質B				A		
			H28	9	3	2	3	3	20	
			量S	質B				A		
			H29	9	3	3	4	4	23	
	12		働きやすい職場環境の推進		量S	質A				A
		<ul style="list-style-type: none"> <li>働きやすい職場環境づくりについては、真にニーズの把握に努め、企業の意識改革も含め、働き手にとって良くなる取り組みを進めてください。</li> <li>やり方によっては、人材確保にとどまらず、住日野企業の競争力の強化につながることも考えられます。</li> <li>企業風土を変えるくらいの啓発を行う意気込みで行って下さい。</li> </ul>	H27	10	2	3	2	2	19	
			量S	質B				A		
			H28	9	2	2	1	1	15	
			量S	質C				B		
			H29	9	3	3	2	2	19	
			量S	質B				A		

## 日野町くらし安心ひとづくり総合戦略

## 施 策 検 証 結 果 一 覧 表

平成29年度

基本目標	施策No	施策	検証委員からのコメント	検証項目					合計 検証点数	
				年度	①KPI	②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み	
				量的検証	質的検証					
結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる	13	学童保育所の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や保護者とのつながりのネットワークを作るということが、学童に関わる人材育成・人材確保につながります。保護者会活動等を通じて、まちの課題に目を向けてうとする気風を育てていってください。</li> <li>施設の充実にあわせ、児童福祉のソフト面での充実に努めて下さい。</li> </ul>	H27	10	2	1	2	2	17
				量S	質C					B
				H28	10	3	3	2	2	20
				量S	質B					A
結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる	14	児童・生徒の自主的学習支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度のコメントに対しての対応が不十分です。引き続き、保護者からみて、その時のニーズにあった切れ目の無い支援となるよう、ターゲットを絞らず全ての子どもを対象にした事業を考えてみてください。</li> <li>保護者をはじめ、地域の人の中に、自分の子ども以外（地域の子ども）の学力を上げることに关心を持ってもらうきっかけとして、ボランティア講師をやってもらうなどという発想を持ち、住民側の力量を発揮、引き出すことを視野に入れてください。</li> </ul>	H27	10	3	3	2	2	20
				量S	質B					A
				H28	5	3	3	2	2	15
				量B	質B					B
結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる	15	奨学金制度の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>奨学金制度について、県教委に一覧表をまとめて周知するようはたらきかけると共に、他部局とも連携し県なく情報が提供できるように努めてください。</li> <li>大学卒業後に日野町に定住をする学生には、賞与ではなく給付の奨学金の制度を作ることを検討してください。</li> <li>他府県の事例も参考に、周知も含め、県と連携した新しい制度の構想をもつべきです。</li> </ul>	H27	10	3	3	2	2	20
				量S	質B					A
				H28	3	3	2	2	2	12
				量C	質B					C
結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる	15	奨学金制度の充実		H29	4	3	3	2	3	15
				量C	質B					B

基本目標施策No	施策	検証委員からのコメント	年度	検証項目					合計 検証点数
				①KPI	②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み	
				量的検証	質的検証				
くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	1 進取のまちの推進	・地域の課題を自らのことと考え、人口減少と少子高齢化が加速する社会の中で、若い人がこの町に暮らし続けられるように、どのような地域づくりをしてくのか、皆で話し合って、取組みをすすめていくことが必要です。	H27	10	3	3	3	3	22
			量S	質B					A
			H28	10	2	2	2	2	18
			量S	質C					B
			H29	9	3	3	2	2	19
くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	2 地域福祉活動の推進	・前例や形にこだわらず、若いときから自分たちのためにやるという思いで、実態に見合った形でやっていくことが必要です。 ・さずなを増やすための住民主体の活動には、啓発や支援が必要です。実態としての機能を把握することに努め、自治会等の活動もみなしでカウントし、全体で盛り上げていって下さい。	H27	9.6	2	1	2	1	15.6
			量S	質C					B
			H28	9	3	3	1	1	17
			量S	質C					B
			H29	9	3	3	2	2	19
くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	3 ボランティア団体の組織化の促進	・趣味が転じてボランティア活動になるような仕掛けをコーディネートする検討をしてください。 ・そこから、趣味の活動団体が社会貢献団体となるように仕向けていってください。	H27	10	1	1	1	1	14
			量S	質D					B
			H28	10	2	2	1	1	16
			量S	質C					B
			H29	9	3	2	2	2	18
くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	4 コミュニティビジネスの創出	・地域の課題をコミュニティビジネスの手法で解決しようとする場合、お金だけではない価値があります。 ・横のつながりをつくり、取組みを進めてください。	H27	0	2	3	2	2	9
			量D	質B					C
			H28	0	2	2	2	2	8
			量D	質C					C
			H29	10	3	3	2	3	21
くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	5 異分野・多世代交流の創出	・地域にどんなリーダーが必要なのかを考えることが求められています。KPIの「公民館サポーター活用数」のとらえ方には再考の余地があります。 ・住民の中にある力量を見出し、育てていくことが公務員の仕事です。力量をアップさせるために、どんなことをすればいいのかを検討してください。	H27	0	2	2	2	3	9
			量D	質B					C
			H28	10	3	2	3	2	20
			量S	質B					A
			H29	3	3	3	3	3	15
くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	6 学びの機会の充実	・暮らしにくさをもっている人がどう見えるのかを考えることが、まさにまちづくりです。この視点をどう育てるのかを検討してください。 ・町にどのような人材が必要なのかを整理することが必要です。各種事業を通して、どう人材育成をするのか、プログラムを整理してください。	H27	9.6	3	3	3	2	20.6
			量S	質B					A
			H28	9	3	3	3	2	20
			量S	質B					A
			H29	8	3	3	3	2	19
くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる			量A	質B					A

## 日野町くらし安心ひとづくり総合戦略

## 施 策 検 証 結 果 一 覧 表

平成29年度

基本目標	施策No	施策	検証委員からのコメント	年度	検証項目					合計 検証点数
					①KPI	②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み	
					量的検証	質的検証				
くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	7	農林業を活かした中間就労の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、ひきこもり等を含め、中間就労の場等を必要とするニーズの把握に努めてください。</li> <li>・ひきこもりの人は難しいとしても、障がいのある方等は、地域の力も注ぎ訓練ができるのではないかですか。就労につなげる取組の仕組みづくりをお願いします。</li> </ul>	H27	0	2	2	2	2	8
				量D	質C				C	
				H28	0	3	3	1	1	8
				量D	質C				C	
				H29	10	2	2	2	2	18
くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	8	障がい者の就労促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の若者は、財産として捉え、若い人を一人残さずキャリアとして生かすことが必要です。</li> <li>・支援が必要な人のところには、手を差し延べていき、若い人が自立していくプロセスを行政が把握していくことが求められています。</li> </ul>	H27	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A	
				H28	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A	
				H29	10	3	3	2	2	20
くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	9	障がい福祉サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の皆さんと交流や理解を深めることがなぜ必要なのかを、今一度確認することが必要です。</li> <li>・地域の住民主体の取り組みの中で、支援を必要とする人を支えられないことを課題とし、今後の取り組みにつなげていってください。</li> </ul>	H27	10	3	2	2	2	19
				量S	質B				A	
				H28	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A	
				H29	10	3	3	2	2	20
くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	10	介護予防の促進・高齢者の自主的な活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者だけの施策にとどめず、若い世代から子どもへ、住民自治につながる長い長い取組となるように働きかけをしてください。</li> <li>・招かれる場に行くということから、その場があるから行くに変わり、必要とされるから行く場となるようにあらゆる工夫をしてください。</li> </ul>	H27	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A	
				H28	9	3	3	2	3	20
				量S	質B				A	
				H29	8	2	2	2	2	16
くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	11	犯罪・事故のないまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標を踏まえ、住民自らがそれぞれの地域で発見し、学び、取組んでいくことができるよう、どのようなことができるかを検討してください。</li> </ul>	H27	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A	
				H28	10	3	3	2	2	20
				量S	質B				A	
				H29	10	3	2	2	2	19
くらしやすい地域とつながり、安心して住み続けられるまちをつくる	12	消防団活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人材が減ってきてている時代の中で、消防活動の大切さを実感し、地域住民のやる気につなげていく働きかけが大切です。</li> <li>・上からの命令で動く組織というものではなくて、自らの地域を守るために自分たちで考えるということの習慣付けが必要です。</li> <li>・ポン操のための訓練ではなく、現場で役立つポン操であると周知することが大切です。</li> </ul>	H27	10	3	3	3	2	21
				量S	質B				A	
				H28	10	2	2	2	2	18
				量S	質C				B	
				H29	10	2	3	2	2	19
				量S	質B				A	

基本目標 施策No	施策	検証委員からのコメント	検証項目					合計 検証点数	
			年度	①KPI	②施策 取り組み状況	③施策 今後の取り組み	④基本目標等 取り組み状況	⑤基本目標等 今後の取り組み	
			量的検証	質的検証					検証結果
13	自主防災組織の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共政策が地域の自治会の活動にまで踏み込まないようにすることを意識し、その地域の活動が盛り上がるよう、これから施策を考えていってください。</li> <li>・各自治会から上がってくる防災の要件については、防災活動は各自治会での取り組みでやるべきことであるということを確認した上で、各自治会（町内会）での防災士を増やすよう啓発してください。</li> <li>・女性の防災士を増やすことも啓発してください。</li> </ul>	H27	10	2	3	2	2	19
			量S	質B					A
			H28	10	2	2	2	2	18
			量S	質C					B
			H29	8	2	2	2	2	16
14	公共交通の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通は、供給に需要を合わせていくことが求められています。基幹インフラを使うという暮らしに変えていくよう啓発してください。</li> <li>・運転手の獲得は、たいへん難しい問題です。町内での雇用を検討してください。</li> </ul>	H27	9	2	3	2	2	18
			量S	質B					B
			H28	9	2	2	2	2	17
			量S	質C					B
			H29	9	3	3	3	3	21
			量S	質B					A

くらしを守るために、より安全な社会をめざして、日々努力しているところです。